

第10回北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会議事録

日時：2014年6月26日（木） 18:45～19:00

場所：産業医科大学ラマティールニ大ホール

出席者（別紙参照）

報告事項（事務局 加藤より）

1. 大腿骨近位部骨折地域連携パス北九州標準モデルの利用状況

平成26年5月末日までに事務局へ送信され受理した連携シートについて報告した。計画管理病院（急性期病院）は1185件、入院連携病院（回復期病棟等）は1094件であり、計画管理病院、入院連携病院の両病院より受理した患者数は766名、合計1513名（男性254名、女性1259名）の利用であった。

・集計結果（全受理データ）

計画管理病院と入院連携病院に分け、事務局の受理件数、事務局への未送信件数を病院ごとに示した。

2. 受傷状況・手術に関する検討

性別・年齢別受傷頻度は男女ともに85歳～89歳がピークで、80歳代で全体の50%を占めていた。平均年齢は83.4±8.3歳であった。2014年に受傷した160名に関して、北九州市の年齢別人口と比較した受傷割合は95歳代まで徐々に増加しており、受傷者数は80歳代がピークだが、割合としては年齢とともに増加していた。100歳以上に関しては受傷者は0人であったため年末に受傷割合を確認する。骨折型では頸部骨折と転子部骨折の割合や、左右の割合はほぼ同等であった。骨折月は11月、12月、2月の順に多く、冬季が多い傾向であった。手術は骨接合術が65.1%、人工骨頭置換術が33.5%、THAが0.9%であった。1年分のデータがそろった2012年、2013年のBIの傾向は骨接合術の方が人工骨頭置換術と比較し元々の点数が低い傾向で、THAは高い点数であった。HDS-Rが骨接合術で低いいため、認知機能の影響が考えられた。骨接合術で入院日数は短く、自宅復帰率は低かった。

（ホームページ上の集計結果を参照）

3. 事務連絡

- ・パス継続が困難と判断された時の対応を説明した。可能な限りデータは事務局へ送信するようにお願いした。
- ・異動等で委員が不在の病院は、委員変更届を提出するようお願いした。
- ・当該病院のアルファベットに関しては、事務局まで問い合わせをお願いした。
- ・退院後の連携シートの写しのFAXまたは郵送を、事務局までお願いした。

4. 意見

糸満委員長よりご意見

全体で見ると人工骨頭置換術は骨接合術より少ないが、頸部骨折のみでは多くなると考えられ、今後、骨折型での検討が必要であると指摘を受けた。また、転子部骨折と頸部骨折で年齢が異なると考えられ今後の検討を依頼された。

ご意見やご要望の連絡先

北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1 産業医科大学リハビリテーション医学講座

担当職員：杉保聖子、担当医：加藤徳明

Fax 093-691-3529

E-mail: reha@mbx.med.uoeh-u.ac.jp

文責 加藤 徳明

北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会事務局 幹事

（産業医科大学リハビリテーション医学講座 助教）Tel 093-691-7266

出席者（敬称略）

委員長：九州労災病院院長 糸満 盛憲

副委員長：産業医科大学リハビリテーション名誉教授 蜂須賀 研二

済生会八幡総合病院整形外科主任部長 リハビリテーション部部長 原口 和史

事務局：産業医科大学リハビリテーション医学講座 加藤 徳明 杉保 聖子

急性期医療機関：

九州厚生年金病院	整形外科	土屋 邦喜
九州厚生年金病院	リハビリテーション室	林 秀俊
製鉄記念八幡病院	リハビリテーション部	小柳 靖裕
済生会八幡総合病院	リハビリテーション部	日野 敏明
新小文字病院	医療連携室	吉津 尚栄
正和中央病院		浦上 泰成

回復期・一般他医療機関：

小倉リハビリテーション病院	院長代理	藤田 雅章
正和なみき病院副院長、正和中央病院		浦上 泰成
北九州八幡東病院	リハビリテーション科	恵村 美幸
北九州安部山公園病院	診療部	田中 繁
芳野病院	理学療法科	酒村 勇輝
松井病院	院長	松井 豊
戸畑リハビリテーション病院	リハビリテーション科	今別府 和徳
東和病院	リハビリテーション科	河野 修
新生会病院	地域医療連携室	岩丸 悦子
くらて病院	リハビリテーション科	今永 真之
大平メディカルケア病院	リハビリテーション科	大橋 繁
北九州小倉病院	内科	金川 賢二
新栄会病院	リハビリテーション科	柚田 真知子
神原クリニック	リハビリテーション科	泊 政次
香月中央病院	リハビリテーション科	宮崎 達也
健愛記念病院	リハビリテーション科	野見山 真人
浅木病院	リハビリテーション科	峯浦 達雄
新中間病院	地域医療連携室	蛙田 沙矢香
北九州湯川病院	リハビリテーション科	安田 光進
佐々木病院	医療相談室	黒田 大作
遠賀中間医師会おかがき病院	リハビリテーションセンター	三好 徹生

協力病院・医院：

出席者なし

欠席者：

北九州市立八幡病院副院長 野口 雅夫

北九州総合病院	整形外科	福田 文雄
北九州市立医療センター	整形外科	西井 章裕
九州労災病院	整形外科	畑中 均
小倉記念病院	整形外科	松崎 尚志
製鉄記念八幡病院	整形外科	藤田 秀一
済生会八幡総合病院	整形外科	兼川 雄次
国家公務員共済組合連合会新小倉病院	整形外科	西田 茂喜
北九州市立八幡病院	リハビリテーション室	須崎 省二
戸畑共立病院	リハビリテーション科	原田 直樹
福岡新水巻病院	整形外科	金澤 洋介
産業医科大学病院	地域医療連携室	野田 雅美
八幡東病院	回復期リハビリテーションセンター	芳賀 敏
北九州市立門司病院	地域医療連携室	前田 秀隆
大原病院	事務部・居宅部	稲富 武志
北九州中央病院		小野 二六一
宮田病院	地域医療連携室	赤星 宣子
戸畑けんわ病院	内科	前田 かつよ
東筑病院	リハビリテーション科	出永 文也
西野病院	リハビリテーション科	賀屋 邦彦
慈恵曾根病院	地域医療連携室	小川 静江
八幡慈恵病院	院長	真角 正
中間市立病院	リハビリテーション科	早野 時彦
健愛記念病院	整形外科	田中 秀敏
町立芦屋中央病院	リハビリテーション科	原口 泰造
皆川整形外科	院長	皆川 敦
二島医院	院長	武 彰
こが医院	院長	古賀 雅之
あやめの里	リハビリテーション科	志田 啓太郎
しもそね整形外科骨粗しょう症クリニック	院長	中 敬彦

委員登録出席医療機関：

九州労災病院、産業医科大学病院、北九州市立八幡病院、済生会八幡総合病院、北九州総合病院、北九州市立医療センター、製鉄記念八幡病院、JCHO九州病院、新小倉病院、新小文字病院、戸畑共立病院、正和中央病院、福岡新水巻病院、北九州八幡東病院、小倉リハビリテーション病院、正和なみき病院、北九州安部山公園病院、芳野病院、大原病院、北九州中央病院、松井病院、戸畑リハビリテーション病院、東和病院、宮田病院、東筑病院、新生会病院、くらて病院、大平アパルテ病院、慈恵曾根病院、北九州小倉病院、八幡慈恵病院、新栄会病院、神原クリニック、香月中央病院、健愛記念病院、浅木病院、新中間病院、北九州湯川病院、町立芦屋中央病院、佐々木病院、遠賀中間医師会おかがき病院
あやめの里

その他、一般出席者：

急性期病院	医師	13名	医療従事者	38名
回復期・一般病院	医師	13名	医療従事者	86名
医院等	医師	2名	医療従事者	6名
北九州市保健福祉局	1名			
企業	2名			
学生	1名			

合計194名